

PRESS RELEASE



やまがたの上質ないいもの。
その魅力をもっと伝えたい。
この新しいブランドマークを旗印に、
山形のいいものの魅力を伝えていきます。

令和5年11月24日

県政記者クラブ報道機関 各位

山形県産業労働部産業創造振興課

地域課題解決を通して事業創出を目指す
山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業

事業創出第9弾

“服”の力で地域に“幸福 (well-being)”を
高齢者・障がい者向け衣服事業を行う「一般社団法人 Fuku-well」設立

令和4年度から実施している「ソーシャルイノベーション創出モデル事業」通称：Yamagata yori-i project(以後、yori-i project)では、新規事業創出の第9弾として、高齢者・障がい者向け衣服に関する事業を検討する井出智子医師（医療法人慈心会 井出眼科病院 院長）の事業化を支援し、今年中に新会社として「一般社団法人 Fuku-well」を設立することになりました。

つきましては、下記により記者発表を行いますので、取材・報道についてよろしくお願いいたします。

記

日時：令和5年11月28日（火） 10時～11時

場所：スタートアップステーション・ジョージ山形（山形市城南町1丁目1-1霞城セントラル2階）

出席者： ■ 医療法人慈心会井出眼科病院 院長 井出智子
■ 山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター センター長 小野寺 忠司
■ 株式会社 next is east Chief Operating Officer、一般社団法人 KAiGO PRiDE 理事、
電動モビリティシステム専門職大学 准教授 小口貴幸（健康アジェンダ・アジェンダリーダー）

■ 概要



井出智子 院長

自身の医療事業の中で福祉・医療分野における衣服の重要性を感じ、かつ自身の医院があり父の出身地でもある最上地域に貢献したいと考えていた井出院長が yori-i project に関心を持ち、ボードメンバーに参画。構想レベルであった高齢者・障がい者向け衣服事業についてコーディネーターがメンタリングを行ったことに加え、障がい者の方からのヒアリングや実際の試作を含む P o C (事業実証) のサポート、衣料・縫製分野の専門家の紹介などを実施した。

また、県の「地域課題解決型創業支援事業助成金」にも採択され、山形県企業振興公社や新庄商工会議所からの支援も受けながら今年中に一般社団法人 Fuku-well を設立する。

本事業は、高齢・障がい・病気などを理由に衣食住の衣で不便さや難しさを抱える方の自立を支援しつつ、着ることの楽しみや出かけることの後押しにより Well-being をかなえることを目指している。高齢・障害・病気を理由に着にくくなった衣服のお直しや、着脱等に困難を抱える方でも着やすい衣服のレンタルや製造を行っていく。

■ Yamagata yori-i project について

yori-i project は、産学官や産業などのセクターを超えた力を結集しデータを基に取り組む課題解決手法「コレクティブ・インパクト」を軸に、多様化する地域課題の解決やそれに伴う新規創業・事業創出を活性化していくプロジェクトです。活動に共感頂いた行政・企業・個人がボードメンバーとしてプロジェクトに参画しており、その数は現在、150 (個人含む) に及んでいます。

<参考 URL> <https://yori-i.org/>

担 当：産業労働部 産業創造振興課
スタートアップ推進室
室長補佐 渡邊 (023-630-2364)
報道監：産業労働部次長 岡崎